

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第35号 R2.12.1

## 保幼小中をつなぐ15年間の『キャリア教育』

～教育活動を「つなぐ」、校種を「つなぐ」、人を「つなぐ」 豊能町キャリアパスポート～

「キャリア教育」の「キャリア」とは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」を意味します。自分が自分として生きるために、「学び続けたい」「働き続けたい」と強く願い、それを実現させていく姿が「キャリア教育」の目指す子どもの姿です。

社会が激しく変化する中、子どもたちは、自分の将来を考えるための理想とする大人のモデルが見付けにくく、希望に満ちた夢を描きにくくなっています。「キャリア教育」では子どもたちが夢や目標を持ち、それを実現していくための「学力」と「人間関係力」を育てていきます。

### キャリア教育担当者会議

本町では、「豊能町キャリア教育計画」に基づいた系統的・継続的なキャリア教育を推進するため、保幼小中の教員で組織された「キャリア教育担当者会議」を開催しています。

#### 【今年度の取組】

##### ■重点項目（重点教育活動）

「みつめる力」の「人権学習（仲間づくり・ジェンダーや障がいとの共生）」

##### ■「キャリア・パスポート」活用の検討

「キャリア・パスポート」は、各学年で「つきたい力」を教育活動の中で取り組み、記録したものを、次の学年や学校に引継ぎ、保幼小中の15年間を見通し、系統的・継続的に活用することを町全体で検討しています。（15年間の記録を蓄積します。）



#### 「キャリア・パスポート」とは…

児童・生徒が、小学校から高等学校までの諸活動について、特別活動の学級活動を要として、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう学習過程や成果などの記録を計画的にファイル等に蓄積したポートフォリオのこと

### 令和2年度 第7回豊能町教育委員会会議 —11月定例会—

11月30日に教育委員会会議が開催され、第12号議案「豊能町立小・中学校教職員人事基本方針」について、審議・可決されました。

「豊能町立小・中学校教職員人事基本方針」は、豊かな学力を育む学校教育を展開し、21世紀を担う人材を育成するためのものです。

## 人権作品 入選おめでとうございます

豊能町人権まちづくり協会主催の「人権に関する標語等募集事業」入選作品が決定しました。入選された皆様、おめでとうございます。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「人権を考える集い」での表彰式は行われませんでした。今後、広報「とよの」に人権作品を随時掲載する予定です。

	学校名	学年	作者名
絵 画 部 門	東能勢小学校	4年	浅野 零 あさの れい
	東能勢小学校	4年	山崎 優悟 やまさき ゆうご
	東ときわ台小学校	5年	久林 ふうか ひさばやし ふうか
	東ときわ台小学校	5年	今中 春花 いまなか はるか
	東ときわ台小学校	5年	高橋 咲星 たかはし さら
	吉川小学校	6年	藤原 雅人 ふじわら まさと
	吉川小学校	6年	大畠 柁衣呂 おおはた ねいろ
	吉川小学校	6年	河上 季龍 かわかみ きりゅう
	光風台小学校	6年	中村 友真 なかむら ゆうま
	光風台小学校	6年	大島 祈花 おおしま ひな
作 文 部 門	東能勢小学校	2年	能見 悠吾 のうみ ゆうご
	吉川小学校	6年	越知 睦 おち むつみ
	光風台小学校	4年	山本 由唯 やまもと ゆい
	東ときわ台小学校	6年	松田 実季 まつだ みつき
	東能勢中学校	3年	今泉 陽滝 いまいずみ ひたき
	東能勢中学校	3年	西浦 未来 にしうら みく
吉川中学校	2年	青木 美緒 あおき みお	

【小中学生の部の入選者を掲載しています】

### 「人権を考える」

「人権」とは、「すべての人が生まれながらにもち、自由で平等に生きていくための権利」です。法務省の人権擁護機関では「人権週間(12月4日～12月10日)」を定め、人権尊重思想の普及高揚に努めています。しかし、いまだにいじめや虐待、SNS上の誹謗中傷など、様々な人権問題が存在しています。さらには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染者や医療従事者、これらの方々の家族などに対する偏見や差別といった新たな人権問題も生じています。

学校園所では、子どもたちの発達段階に応じ、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるよう、様々な教育活動を行っています。ご家庭でも、この機会に一度、人権問題について、「誰か」のことではなく自分ごととしてお子さんと一緒に考えていただくことができたらと思います。